

平成29年度 〔 自 平成29年 4月 1日 〕
〔 至 平成30年 3月31日 〕

事業計画書

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

平成 29 年度 事業計画書

はじめに

昨年は、大河ドラマ「真田丸」放映に伴う「体感!! 戦国の絆 信州松代 真田大博覧会 2016」の実施により、松代を中心に多くの観光客にお越しいただきました。また、訪日外国人旅行者（インバウンド）の入り込み状況についても順調に増加してまいりました。

本年度は、大手旅行会社及びＪＲグループ各社による大型全国キャンペーンを活用して誘客に努めてまいります。また、新たな長野市観光振興計画スタートの年として、各種事業に取り組んでまいります。

● コンベンション事業

コンベンション誘致の強化を図るとともに、長野市と協力してオリンピックの事前合宿誘致に向けた情報発信に努めてまいります。また、国内では夏場の合宿誘致のみならず、年間を通じた合宿誘致に向け、宿泊事業者及び各協会等と連携を密にして誘客を図ります。

インバウンドに対する取り組みとしましては、褒賞旅行・研修旅行等のインセンティブ旅行誘致に向け、情報発信の強化に努めてまいります。

● 観光振興事業

本年４月からスタートいたします「長野市観光振興計画」に基づき、善光寺表参道・戸隠・松代を中心に情報発信及び誘客を強化し、市内各地への回遊を図ってまいります。

また、本年度行われます「日本の旬キャンペーン※」及び「信州 デスティネーションキャンペーン※」と連携した情報発信の強化を図り、誘客に努めてまいります。

昨今好調に推移しているインバウンドについては、の更なる誘客を図るため、観光及び宿泊事業者と連携し、誘客促進とともに受入体制の強化を図ってまいります。

※ 日本の旬キャンペーン

「日本の魅力の再発見」をテーマに、各地の「旬」の魅力を掘り起こし、旅行を通じてより多くのお客様に、現地の魅力を感じていただくことで、国内観光地域活性化への貢献を目指すＪＴＢグループのキャンペーンのこと。平成 29 年 4 月～9 月、“「日本の旬 信州」～はじめの山歩（さんぽ）～”をキャッチフレーズに信州への誘客を図る。

※ デスティネーションキャンペーン（DC）

ＪＲグループ（6 社）と地方自治体、観光関係者等が一体となって実施する大型観光キャンペーンのこと。平成 29 年 7 月～9 月、“「健康」「美しさ」の源『山岳高原』”をメインテーマとし長野県で実施される。（平成 28 年：プレDC、平成 30 年：アフターDC）

I コンベンション事業

重点目標

- 1 中小規模コンベンションに対する誘致及び支援の強化
- 2 国際スポーツ大会・全国的スポーツ大会等の計画的な誘致推進及びオリンピック合宿誘致の情報発信
- 3 年間を通じた合宿誘致の推進
- 4 海外 インセンティブ旅行^{*1}の誘致

重点事業

- 1 中小規模のコンベンションの新規誘致に的を絞り、首都圏の学会・協会等の会議主催団体及び旅行会社等へ積極的な誘致活動を展開するとともに、北陸・近畿圏での誘致活動を強化する。
なお、大規模コンベンションは全国で順番に開催されている状況であることから、引き続き情報収集を行い、長期的計画による継続的な訪問活動を行う。
 - (1) 北陸新幹線（長野経由）の利便性を活かし、北陸及び近畿圏での誘致活動を強化する。
 - (2) 地域の特徴（歴史・文化・自然・環境）を活かしたユニークベニュー^{*2}を活用し、誘致の拡大に繋げる。
 - (3) 誘致の拡大のため、松本観光コンベンション協会や軽井沢観光協会等、関係する他団体との連携を図る。
 - (4) 日本コンgres・コンベンション・ビューロー（JCCB）を最大限活用し、誘致情報の収集、誘致に努める。
- 2 「第二次長野市スポーツ推進計画」に基づき、長野市及び関係団体等と連携し、国際スポーツ大会や全国的スポーツ大会等の計画的な誘致を図る。
 - (1) 国際スポーツ大会及び全国的規模のスポーツ大会に対する支援制度を活用し、新規大会の誘致や長野市での継続的な実施に繋げる。
 - (2) オリンピック合宿を誘致するため、長野市と連携し、情報の収集及び発信を行う。
 - (3) 平成33年度まで毎年開催される全国中学校スケート大会への継続した支援を行うとともに、オリンピック開催都市としてのブランドを活かし、ウインタースポーツ競技の大会誘致に努める。
- 3 支援制度を活用し、新規合宿の誘致強化を図る。
 - (1) 夏季ピーク以外の合宿を重点的に誘致するため、長野市東京事務所と連携し、首都圏の教育機関、旅行会社及び大学生協等へ誘致活動を展開する。
 - (2) 北陸新幹線（長野経由）の利便性を活かし、北陸、近畿圏からの合宿誘致活動を行う。
- 4 日本政府観光局（JNTO）及び長野県等と連携し、ASEAN諸国及び台湾からのインセンティブ旅行を誘致するため、国内外で開催される招請事業や商談会で積極的な誘致活動を展開する。
 - (1) 長野市及び北信濃の魅力や伝統文化をPRすることで、インセンティブ旅行先の候補地としての知名度向上及び誘致推進を図る。
 - (2) 訪日外国人旅行者（インバウンド）取扱旅行会社との連携を密にし、多様なニーズの的確な把

握に努めるとともに、誘致推進を図る。

主な改正点

- ▶ オリンピック合宿誘致の情報収集及び発信

事業の概要

コンベンション事業費	予算額	前年度予算額	比較増減
	69,409 千円	69,399 千円	10 千円

1 コンベンション誘致事業

(1) コンベンション誘致活動

- 首都圏及び近畿圏を中心にコンベンション主催者を訪問し、誘致活動を行う。
- 北陸新幹線（長野経由）の利便性を北陸圏の大学及び旅行会社にPRし、合宿を誘致する。
- 高等教育機関、学会関係者及び関係団体との情報交換会等を実施し、人脈の構築とキーパーソンの発掘を行う。
- コンベンション主催者及び教育旅行関係者を招聘し、現地視察を行う。
- 国際ミーティング・エキスポ^{※3}に出展（長野県及び他団体と連携）し、コンベンション主催者に対しPR活動を行う。
- 「コンベンション総合ガイド」及び「長野市合宿ガイド」を活用し、情報発信を行う。
- コンベンション連絡協議会及び他都市コンベンション推進機関との連携強化を図る。
- 「ふるさとNAGANO応援団」委員の紹介による専門分野別のコンベンション誘致活動を実施する。
- 教育旅行の誘致強化へ向けた取り組みを展開する。

2 コンベンション開催を促進するために行う各種支援事業

(1) コンベンション支援

- 長野市内での開催・宿泊を伴う会期が概ね2日以上かつ大会参加者 60 人以上のコンベンションに対する支援
 - ・ 歓迎看板等の設置
 - JR長野駅デジタルサイネージ及び大会開催会場
 - ・ コンベンション支援パンフレット等の提供
 - おいでなしてながの・グルメガイド・トートバッグ
 - ・ エクスカーションバス運行
 - 観光バス2台まで
 - 参加者 100 人以上、会期2日間以上
 - ・ シャトルバス（駅・会場・宿泊施設間）の運行（コンベンション・スポーツ大会）
 - 参加者 1,000 人以上 運行経費上限 50 万円
 - 参加者 200 人以上 運行経費上限 30 万円
 - ・ ポスター・ドアステッカー掲出
 - タクシードアへの歓迎ステッカー掲出・商店街等への歓迎ポスター掲出
 - 参加者 1,000 人以上のコンベンション・スポーツ大会
- 企業コンベンション（参加者 100 人以上）に対する支援
 - ・ 歓迎看板等の設置

- JR長野駅デジタルサイネージ及び大会開催会場
- ・コンベンション支援パンフレット等の提供
 - おいでなしてながの・グルメガイド・トートバッグ
- ・アトラクションの提供（経費上限 10 万円以内）
- ・エクスカーションバスの運行
 - 観光バス 2 台まで、当法人の指定コース
- イベントに対する支援
 - ・観覧型イベント 歓迎看板等の設置

(2) コンベンション及びスポーツ大会の開催助成金交付

- コンベンション開催助成金の交付
 - 長野市内開催の宿泊を伴うコンベンションの主催者に対し、会場費の半額を助成する。
ただし、参加者数の区分に応じた交付額を上限とし、いずれか低い額を交付する。
- 国際会議開催助成金の交付
 - 長野市内開催の宿泊を伴う国際会議の主催者に対し、参加者数に応じた助成金と主会場使用料の半額相当額を助成金として交付する。
- スポーツ大会開催支援金の交付
 - スポーツ大会の主催者に対し、参加者数に応じ支援金を交付する。
- 合宿開催支援金の交付
 - 長野市内での宿泊を伴う合宿の主催者に対し、延べ宿泊者数に応じ支援金を交付する。
(上限 10 万円)
- 合宿幹旋送客促進支援金の交付
 - 長野市内で平成 29 年度（7・8 月は除く）に開催する合宿を送客した旅行事業者に対し、合宿幹旋送客促進支援金を交付する。
(上限 5 万円)
- 企業コンベンション開催助成金の交付
 - 企業が実施する長野市内での宿泊を伴う会議や研修に対し、会場費の半額を助成する。
ただし、参加者数の区分に応じた交付額を上限とし、いずれか低い額を交付する。
- 企業コンベンション送客促進支援金の交付
 - 長野市内開催の宿泊を伴う企業コンベンションを企画・実施した旅行事業者に対し、宿泊者数に応じ送客促進支援金を交付する。

(3) コンベンション開催準備金貸付

長野市内で開催されるコンベンションに対し、主催者支援のためコンベンション開催準備金の貸付を行い、コンベンション主催者の便宜を図ることをもってコンベンション誘致を促進するもの。

具体的には主催者への貸付金（2,000 千円）を当法人が金融機関から借り入れ、利子及び手続き費用を当法人が負担し、主催者へ無利子で貸し付けを行う。

3 コンベンションに関する情報収集・情報発信

(1) コンベンションアンケート

- コンベンション主催者・参加者へのアンケート調査により、誘致活動・受け入れ体制の再検討を行う。
- コンベンションアンケート調査に基づく経済波及効果等の試算・公表を行う。

(2) 情報発信

- コンベンション誘致情報のデータベース管理により、情報共有化と誘致活動を推進する。
- 長野市のコンベンション、合宿及び観光情報等を当法人ホームページから発信する。
- オリンピック合宿誘致のため、関連情報を発信する。
- 当法人ホームページ賛助会員専用ページのコンベンション開催等情報を随時更新することにより、賛助会員への的確な情報発信を行う。
- 海外からのインセンティブ旅行誘致に向け、当法人ホームページの英語版コンベンション誘致ページからの情報発信を行う。
- 機関紙「インフォームながの」の発行
賛助会員、関係行政機関、大会主催者等に、事業活動報告及びコンベンション・観光に関する情報を提供する。(年3回発行)
- コンベンション開催予定状況調査によるコンベンションカレンダーを発行し、コンベンションの告知及びイベント情報の紹介を行う。また、賛助会員に対しては、より早く情報の発信を行う。
- MICE^{※4} 業界誌、県人会誌等への広告掲載により、大会主催者等に向け長野市でのコンベンション開催をPRする。
- 大会プログラム等への広告掲載を行い、大会参加者に向けて長野市のPRを行うとともに、大会主催者に対して長野市での継続開催を促進する。

(3) 関連組織との協調による情報収集等

- 観光庁、JNTO、JCCB、旅行会社、観光事業者が主催する各種会議、シンポジウム、セミナー等へ参加する。
- 中部コンベンション連絡協議会への参加による中部圏等ビューローとの協調を図る。
- ASEAN諸国及び台湾の旅行会社、メディア等を訪問し、誘致活動を行う。
- 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)を活用し、長野市のスポーツコミッション事業^{※5}に有益な情報の収集に努める。

4 「おもてなしの心」の醸成を図る事業

セミナー及び情報交換会の開催により、「市民のおもてなしの心」の醸成及び賛助会員の他業種間での情報交換や連携推進を図る。

※1 企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)

※2 「特別な会場の意味」美術館や博物館、歴史的建造物等で会議やレセプションを開くことで特別感や地域の特性などを演出できる会場

※3 毎年12月に開催される日本で唯一の国際コンベンション見本市

※4 企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

※5 スポーツを活用したまちづくりや地域づくりを推進することで地域の活性化を図る事業

Ⅱ 観光振興事業

重点目標

- 1 新長野市観光振興計画に基づく事業の実施
- 2 信州デスティネーションキャンペーン（DC）を活用した長野市ならではの魅力発信と誘客推進
- 3 訪日外国人旅行者（インバウンド）の誘客促進
- 4 広域観光の推進及び他都市との連携

重点事業

- 1 長野市が新たに策定した長野市観光振興計画に基づき、善光寺表参道、戸隠、松代を誘客の起点とし、市内の周遊と滞在時間の延長を図り、市内の宿泊拡大に繋げる。
 - (1) 市内宿泊者数の増加に繋げるため、観光事業者等と連携して、長野の「食」や「伝統文化」、「自然」等を堪能できる観光コンテンツの充実を図り、観光情報の発信を強化する。
 - (2) 「散策・体験プログラム」は、各地域の観光ボランティアや観光事業者との連携を強化し、長野市でしか味わえない独自の楽しみ方を提案することにより、滞在時間の延長を図る。
 - (3) 誘客の起点とする善光寺表参道、戸隠、松代の周辺エリアにおける観光コンテンツの充実を図り、市内を周遊する観光コースを積極的に提案することで、観光客の周遊促進と滞在時間の延長に繋げる。
- 2 平成29年7月から9月に実施される信州DCに併せ、信州キャンペーン実行委員会と協調、連携することにより、長野市ならではの魅力を全国に発信し、誘客拡大を図る。
 - (1) 信州DCでは、「世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州」をキャッチフレーズに“山岳高原”にスポットが当てられるため、妙高戸隠連山国立公園に代表される市内の高原や里山の魅力発信を強化することにより、誘客拡大を図る。
 - (2) まち歩きガイド団体と連携して、市内各地の自然や文化等の魅力を活かした「まち歩き観光」を促進するとともに、信州DCの機能を最大限に活用した情報発信に努めることにより、長野市への誘客を図る。
- 3 多くのインバウンドの方々に長野市を訪れていただけるよう、旅行会社をはじめとする観光事業者等との連携を強化し、誘客拡大を図る。
 - (1) 外国人に広く知られている「スノーモンキー」を活用し、台湾及びASEAN諸国からの誘客に加え、欧米豪に対しても継続的な誘客活動を展開する。
 - (2) 台湾及びASEAN諸国で開催される旅行博への出展及び現地旅行会社等への誘客活動を強化する。
 - (3) インバウンドに対応したホームページ及びスマートフォンを活用し、情報発信を強化する。
- 4 北信濃観光連盟を中心とした広域観光の推進及び他都市との連携強化を図る。
 - (1) 長野市がJR長野駅新幹線改札口の正面に設置したデジタルサイネージ（デジタル表示パネルを利用した電子看板）を利用し、長野市及び北信濃の観光プロモーション映像等を放映することで、効果的な情報発信を図る。

- (2) 北信濃観光連盟との協働により、各地域の観光素材を活かした企画を旅行会社へ提案し、広域での滞在型観光を推進する。
- (3) 長野市と近隣8市町村で展開する 長野地域連携中枢都市圏 ※¹ エリア内の観光素材の掘り起こしを行い、広域観光の推進を図る。
- (4) 松本市及び上田市と連携し、三市を周遊する観光ルートを模索するとともに、商談会への共同出展等により、国内外に向けて広く情報を発信する。

主な改正点

- 新長野市観光振興計画に基づく事業の実施
- 信州DCを活用した誘客推進

事業の概要

観光振興事業費	予 算 額	前年度予算額	比較増減
	172,610 千円	191,112 千円	▲ 18,502 千円

1 観光宣伝事業

- 長野市内の歴史・文化・自然等の観光資源を活用し、長野ならではの魅力を伝え、滞在時間延長に繋がる積極的なPR活動を行う。
- 北陸新幹線（長野経由）の利便性を活かし、長野市への誘客拡大を図るため、関西圏、北陸圏での情報発信を強化する。
- 信州DCをはじめとする大型全国キャンペーンを活用して、観光素材を効果的に発信することにより、長野市への誘客推進を図る。
- 県、市、周辺市町村等の関係機関・団体と連携した観光キャンペーン等を実施し、あらゆる機会を通じて観光宣伝に努める。
- 北信濃観光連盟と連携して、パンフレット・ポスター・ホームページ及びデジタルサイネージを活用し、エリア内の情報を発信する。
- 全国の主要駅及び県外観光案内所等での観光ポスター等の掲出により、情報の発信を行う。
- 広告媒体（テレビ、新聞、雑誌、インターネット等）の活用にあたっては、ターゲットを明確にし、訴求効果の高い媒体により情報を発信する。
- メディア関係者（ブロガーなどのSNS ※² 発信者等）を招請し、観光資源を活用した「長野市」の知名度向上を図る。
- 外国語（英語・中国語等）版観光パンフレット等を作成し、長野市の基本的な観光情報を海外に発信する。
- インバウンドに対応したホームページ及びスマートフォンを活用して情報を発信する。

2 誘客推進事業

- 旅行会社の特性に合致した具体的な観光素材の提供を行い、効果的な誘客を図る。
- 旅行会社から企画提案のあった旅行商品を対象に、宣伝広告費支援金並びに送客促進支援金を交付する。
- 松代藩文化施設等における旅行会社とのクーポン券精算業務を行う。
- 海外メディア関係者やエージェント等の取材受け入れを行い、オリンピック開催都市「NAGANO」の知名度の向上と誘客を図る。
- 台湾及びタイを中心としたASEAN諸国等の旅行会社に対して、「スノーモンキー」をキーワード

ードとしながら善光寺表参道、戸隠、松代等の歴史や伝統文化、各種体験を組み込んだ商品の提案を行い、誘客を図る。

- 海外からの個人旅行受け入れ態勢の整備を行い、誘客の拡大を図る。
- 長野県内及び首都圏に長期滞在している外国人旅行者に対して、滞在期間中に長野市を訪れていただくため、フリーペーパー等を活用したショートトリップの提案を行い、誘客を図る。

3 観光客滞在時間延長事業

- 善光寺表参道、戸隠、松代を起点に市内の観光スポットを周遊していただくことで、滞在時間の延長に繋げる。
- 長野市のガイドブック及びガイドマップを市内宿泊施設等に設置することにより、観光客の周遊促進と滞在時間の延長に繋げる。
- 市内のガイド団体と連携し、地域の歴史や文化を堪能できる「まち歩き観光」の充実により、滞在時間の延長及び再来訪に繋げる。
- 「おもてなしの心」の醸成を図るため、市民を対象とした講座を開催する。

4 新たな観光の魅力創出事業

- 長野ならではの素材を組み込んだ着地型旅行商品を企画・造成し、長野市内への誘客拡大を図る。
- 北信濃観光連盟及び長野県観光機構等と連携し、旅行商談会において観光素材を提案することにより、広域観光の魅力を生み出し、誘客拡大を図る。
- ながの祇園祭（屋台巡行）、長野びんずる、飯縄火まつり、長野えびす講煙火大会、食の合戦、長野灯明まつり等各種観光行事やイベント・まつりの支援を行い、新たな誘客を図る。
- 観光ボランティア団体、各種体験受け入れ団体との連携強化を図る。

5 観光案内施設等の運営

- 長野市観光情報センター及び松代観光案内所において、市内のみならず県内の細やかな観光情報を提供することにより、来訪客の満足度向上に努める。
- 当日の宿泊手配等を行い、観光客の利便性の向上を図る。
- 長野市内の魅力を活かした地域の自然や文化を堪能することができる「まち歩き観光」の促進に努める。
- 職員研修を実施することにより、職員の資質向上を図る。

6 フィルムコミッション事業

- 長野市の映像露出の機会を増やし、知名度や都市ブランド力の向上を図るため、映画、テレビドラマ、テレビCM等のロケ撮影の支援、広報を行う。
- 地元と協働してロケ地ツアー等を実施し、観光客の増加を図る。
- ロケ地マップ等を充実し、フィルムツーリズムの促進を図る。
- 監督、制作会社スタッフを長野市へ招聘することにより、映画、テレビドラマ等の誘致を図る。
- ホームページの掲載内容を充実し、ロケ撮影候補地に関する情報提供の強化を図る。
- ジャパン・フィルムコミッション及び信州フィルムコミッションネットワークとの連携によるロケ撮影の情報共有を図り、誘致に努める。

- ※¹ 国が進める連携中枢都市圏構想に基づき、長野市が近隣2市4町2村（須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村・信濃町・小川村・飯綱町）と連携した圏域（長野地域）を構成し、域内の様々な課題に対し、合併によらず、スクラムを組んで「お互いの強みを活かし、弱みを補う」ことにより、持続可能な地域社会を創生するとともに、圏域全体を活性化し発展させていくことを目的とし、具体的な取組などをまとめた「長野地域スクラムビジョン」（長野地域連携中枢都市圏ビジョン）が平成28年3月に策定されている。
- ※² ソーシャル・ネットワーキング・サービス（英語：Social Network Service）の略
インターネットを通じて人と人とのつながりを促進・サポートする、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型のWebサイトのことで、代表的なサービスとして、「ツイッター」「フェイスブック」などがある。

Ⅲ 東京事務所

1 コンベンション事業

重点目標

- 1 中小規模コンベンションの誘致促進
- 2 国際スポーツ大会・全国的スポーツ大会及びオリンピック合宿の誘致促進
- 3 合宿の誘致促進
- 4 海外インセンティブ旅行の誘致促進

重点事業

- 1 中小規模コンベンションの新規誘致に的を絞り、首都圏の協会・連盟・学会・旅行会社等へ積極的な誘致活動を展開する。また、大規模コンベンションについては引き続き情報収集を行い、長期的計画による継続的な訪問活動を行う。

- (1) 中小規模コンベンション誘致に向けて、新規案件への誘致活動を展開する。
- (2) 大規模コンベンション主催者への長期的、継続的な訪問活動を実施する。
- (3) 地区・ブロック大会や関連する研修・セミナー等を含めた国内コンベンションの誘致活動を積極的に行い、将来の全国大会等の大規模コンベンションへの誘致に繋げる。

- 2 国際スポーツ大会・全国的スポーツ大会を誘致するとともに、オリンピック合宿の誘致へ向けた活動を強化する。

- (1) スポーツ大会の開催支援金制度を有効活用して、競技関連団体、各種スポーツ大会主催者等への誘致活動を行う。
- (2) オリンピック合宿を誘致するため、長野市東京事務所と連携し、首都圏の競技団体本部や関係団体等への情報収集や誘致活動を強化する。

- 3 支援制度を活用し、新規合宿の誘致を図る。

夏季ピーク以外の合宿を重点的に誘致するため、長野市東京事務所と連携するとともに、「長野市合宿ガイド」を効果的に活用し、首都圏の教育機関、旅行会社及び大学生協等を中心とした学生マーケットへの重点的な誘致活動を展開する。

- 4 企業が行う会議やインセンティブ旅行等に対して、コンベンション部と連携して積極的な誘致活動を展開する。

- (1) 旅行会社からの情報収集及び情報交換を通して、他都市と差別化した長野市の特色を活かした企画提案を行い、併せて企業コンベンション送客促進支援金制度の積極的な活用を行う。
- (2) 訪日外国人旅行者(インバウンド)取扱旅行会社(首都圏の窓口)との連携を密にし、国際会議やインセンティブ旅行の主催者に開催地又は旅行先として長野市が選ばれるための条件(ニーズ)に関する情報収集を行い、誘致を促進する。

2 観光振興事業

重点目標

- 1 新長野市観光振興計画に基づく長野市への誘客促進
- 2 信州デスティネーションキャンペーン（DC）と連携した情報発信の強化
- 3 訪日外国人旅行者（インバウンド）の誘客促進

重点事業

- 1 新長野市観光振興計画に基づく誘客事業を推進するため、首都圏旅行会社等への情報発信を強化し、誘客拡大に取り組む。

(1) 長野の「食」や「伝統文化」「自然」等を堪能できる観光コンテンツを活用し、市内周遊の起点とされる善光寺表参道、戸隠、松代を中心とした観光情報の発信を強化することで、誘客事業を推進する。
(2) 「まち歩き観光」及び「散策・体験プログラム」の活用により、長野市でしか味わえない独自の楽しみ方を首都圏旅行会社等へ効果的に企画提案し、観光客の滞在時間の延長を図る。
- 2 信州DCと連携し、首都圏における長野市の魅力発信を効果的に展開する。

(1) 信州DCでは「山岳高原」がテーマとなることから、戸隠・飯綱、鬼無里などに代表される高原や里山の魅力を首都圏旅行会社等へ効果的に発信する。
(2) 信州DCと連携し、長野市内で楽しめる「まち歩き観光」や「散策・体験プログラム」を首都圏において効果的に発信し、誘客推進を図る。
- 3 訪日外国人旅行者（インバウンド）の誘客促進

(1) 外国人に広く知られている「スノーモンキー」をあらゆる素材に組み込み、首都圏にて訪日旅行を取り扱う旅行会社を中心に情報発信し、誘客推進を図る。
(2) JNTOや各国の観光協会等からの幅広い情報収集活動を行うことにより、長野市への誘客推進を図る。
(3) インバウンドに対応したホームページ及びスマートフォンを活用し、情報発信を強化する。

※ 長野市東京事務所との連携事業の推進

- (1) 長野市東京事務所との連携を強化
- (2) 都内で行われる観光・物産イベント等への積極的な参加
- (3) 「長野県人会連合会」との連携を強化
- (4) 「ふるさとNAGANO応援団」との効果的な協働